

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【公表番号】特表2016-501875(P2016-501875A)

【公表日】平成28年1月21日 (2016.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-005

【出願番号】特願2015-545419(P2015-545419)

【国際特許分類】

C 0 7 K 16/36 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 16/36

C 1 2 N 1/15 Z N A

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 7/04

A 6 1 K 49/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月22日 (2016.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

( a ) 配列番号 1、2 および 3 により表された重鎖 C D R を含む重鎖と、

( b ) 配列番号 4、5 および 6 により表された軽鎖 C D R を含む軽鎖と

を含む抗体。

【請求項 2】

前記重鎖のフレームワーク領域が配列番号 7、8、9 および 10 により表されるか、または 5 個以下の保存的アミノ酸置換を有している、および / または

前記軽鎖のフレームワーク領域が配列番号 11、12、13 および 14 により表されるか、または 5 個以下の保存的アミノ酸置換を有している、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 3】

配列番号 8 の残基 14 が A 1 a で置換されているか、または

配列番号 9 の残基 11、13 および 31 が、1 つ以上のセリン ( 残基 11 )、バリン ( 残基 13 ) およびイソロイシン ( 残基 31 ) で置換されている、請求項 2 に記載の抗体。

## 【請求項 4】

前記重鎖が配列番号 16 ~ 24 を含む、および / または  
前記軽鎖が配列番号 26 ~ 30 を含む、請求項 1 に記載の抗体。

## 【請求項 5】

配列番号 11 の残基 4 がロイシンで置換されている、および / または  
配列番号 13 の残基 12 がアルギニンで置換されている、請求項 3 に記載の抗体。

## 【請求項 6】

前記抗体が一本鎖抗体であるか、または、F a b'、F a b、F ( a b' )<sub>2</sub>、単ドメイン抗体、F v、もしくは s c F v などの抗体断片である、請求項 1 に記載の抗体。

## 【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の抗体をコードする核酸を含む細胞または細胞系。

## 【請求項 8】

医薬的に許容可能な担体中に分散した、請求項 1 ~ 6 に記載の前記抗体を含む医薬組成物。

## 【請求項 9】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、活性化プロテイン C 抗凝固活性および / または活性化プロテイン C アミド分解活性を阻害する薬剤の製造のための使用。

## 【請求項 10】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、血液凝固用薬剤の製造のための使用。

## 【請求項 11】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、敗血症治療用薬剤の製造のための使用。

## 【請求項 12】

前記薬剤が活性化プロテイン C を含む、請求項 11 に記載の方法。

## 【請求項 13】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、血友病を治療するための、または、止血を調節するための薬剤の製造のための使用。

## 【請求項 14】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体の、血栓症を調節するための薬剤の製造のための使用。

## 【請求項 15】

請求項 1 ~ 6 に記載の抗体または請求項 8 に記載の組成物を含むキット。

## 【請求項 16】

前記抗体が標識されている、請求項 15 に記載のキット。